

Desert Wind

■LVJCC 牧師: 鶴田健次

■■人を幸福にする言葉■■

脳科学者たちの研究報告によれば、人間の脳は230億の細胞があるそうですが、この脳細胞の中の98%が言葉の影響を受けているとのこと...

ところが聖書は、昔から既に、言語中枢神経が私たちの生活の中で絶対的な影響力を持っていることを示唆しています...

ですから、どんな言葉を語るかによって、その人のあらゆる神経系に影響をもたらす、その人の考え、行動を支配し、人生を支配するのです...

また言葉は、生き方だけではなく、体にも影響を与えるので、言語治療では、患者に「病気が治った」という肯定的なことを語り、患者がこの言葉を聞いて、体がその言葉の方向に向かうそうです...

言葉は私たちの考えを人に伝える手段ですが、そればかりではなく、言葉は私たちの心と体を支配するほど大きな影響力を持つのです。

① 感謝の言葉は人を幸福にする

感謝の言葉を口にすると、言われるほうの人だけでなく、言うほうの人の心も幸せになります。ですから聖書は、敢えて、すべての事について感謝することを、神が私たちに望んでおられるのだと言っているのです...

② 賛美と賞賛の言葉は人を幸福にする

感謝の心があれば、私たちの口から、賛美と賞賛の言葉が出てきます。賛美は神様に対して、賞賛は人に対しての言葉です。まず、神様に対する賛美は、私たちに幸福にします...

賛美すれば、その賛美の中に神様が来て下さいます。詩篇22:3に「あなたは、イスラエルの賛美を住まいとしておられます」とあり、神様は賛美の中に住まわれるのです...

③ 祝福の言葉は人を幸福にする

ユダヤ民族の素晴らしい特徴の一つは、人々を祝福することだと言われます。彼らは幼い時から、出会う人々を祝福するという習慣を身につけます。だからこそユダヤ民族は世界的な民族になったのかも知れません...

DREAMS COME TRUE

- 教会堂の建設
敬老ホームの設立
幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

- 日本の家族の救いのために
各スモールグループのオイコス伝導のために
入門者クラスのために
掘田兄弟の神学校での学びのために
癒しの祈り: 恵理奈ちゃんの網膜芽細胞腫、植木ケン兄の糖尿病、神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、夕紀子姉の緑内障、中村裕二先生の直腸癌、以津子姉、Kahokuさん、藤永君江さんの癌

Desert Wind では、ご意見・質問等何でも受け付けております。
lvjccdw@hotmail.co.jp
発行人: 鶴田健次
編集人: 松岡みどり



主イエス様の愛と御言葉に生かされて

証し ● Setsuko Lynes (第1話・2話完結)

私の一日は、朝起きると、主イエス様に、「お早う御座います。あなたを愛します。今日の私達の全ての必要を満たして下さい」と祈り、また、イエス様に生かされていることを心から感謝し、それから家族や色々な方達の為に祈ります。

私はラスベガスへ来る前はハワイに30年住んでいました。早いもので、ここへ来て5ヶ月が過ぎました。ハワイに住んでいた15~6年前までは、私は真面目なクリスチャンではなく、教会へ行ったり行かなかったりの生活を送っていました。

ある日、私は自分の家を売ることになりました。引越して新しい場所に移ると近くに大きな教会があり、もう一度教会に行ってみたくかったので友達と二人で行きました。初めて行った日、何とも言えない平安と喜びに満たされ、それ以来、イエス様はたくさんの信仰を持った姉妹達に会わせて下さいました。その教会へ行くようになって一ヶ月ほどして、私は本当の信仰に目覚め、主イエス様を新たな心で受け入れ再洗礼を受けました。

その後、一年半ほどその教会に行った頃、私は病気になる、仕事を辞め、二ヶ月くらい教会を休みました。その間、私は多くの姉妹達から電話や手紙をもらい、また祈っていただきましたが、教会に行く気持にはなれていませんでした。でもイエス様は聖書を読む事だけは忘れずにさせて下さったので、毎日、聖書と睨めっこする日々が続きました。時どきイエス様が私の目の前にいて、私に話しているような幻も見ました。

ある日、主イエス様の大きな愛を心に抱いていたとき、イエス様が初めて私に下さった詩篇103篇3節の「主はあなたの全ての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし」という御言葉を読み、私は何とも言えない平安を与えられ涙が溢れ出しました。イエス様は私のような罪人をいつも愛し、見捨てないで下さいました。それから何日か過ぎ、ある姉妹から日曜日の朝に電話があり、「教会へ行こう、今から迎えに行くから準備してね」と言って電話を切ってしまわれました。私は折り返し電話をして断ろうと思いましたが、手が震えて電話をできませんでした。それから数分後、私の心から聖歌の「キリストにはかえられません」の賛美があふれ、涙が込み上げてきました。それから姉妹に連れられ、数ヶ月ぶりに教会に行き、久しぶりの賛美と先生の説教、そして姉妹たちの笑顔に、溢れ出る涙を抑えられませんでした。

その日から私はイエス様の為に何が出来るだろうかと考え、まずは恥ずかしくない、いつも喜びと愛に満ち溢れている自分になれるように主に祈りました。すると主は私に歴代志上4章10節のヤベツの祈りの御言葉を下さり、私はそれ以来、「どうか、あなたが豊かに私を恵み、わたしの国境を広げ、あなたの手がわたしとともにあって、わたしを災いから免れさせ、苦しみをうけさせられないように」といつも祈るようになりました。そのおかげで主は私の病を完全に癒して下さいました。その後、教会の姉妹からレストランをオープンするので手伝って欲しいと言われて、久しぶりに仕事を与えられました。初めて仕事へ行った日、その仕事場の近くにはホームシェルターがあり、このシェルターに住む多くの方達が道端にゴロゴロ寝ているのを見て、私はつい「イエス様、ご免なさい、私はこんな所で仕事したくありません」と言いました。すると、すぐに主が、「この人達もあなたと同じ人間ですよ」と言われました。私は主の答えに自分が恥ずかしくなり、これでは良いクリスチャンとは言えないと思い、この醜い心の私を赦して下さいと祈りました。

何日かして一人の女性がいつも同じ場所に座っているのに気づき、いつも会うと Good morning. God bless you. と声をかけられるようになりました。ところが彼女からはまったく笑顔もなく返事もありません。しかし私は、この彼女の為に何かしてあげたくて、「主イエス様、私が彼女にしてあげられることは何ですか?」と祈り求めました。するとイエス様は私に、「食べ物を与えるようにしなさい」と示して下さいましたので、私は、それからいつも4時半に起きて彼女のために弁当を作り、そして仕事が始まる30分前に家を出て、彼女のところに行き仲良く話をするように心掛けました。また何よりも主イエス様の話をし、彼女のために祈ることができ、今まで無かった笑顔が彼女の顔に戻ってきました。私は、「主イエス様、二人の時間を下さりありがとうございます」と感謝しました。何週間か過ぎて、私は彼女に、「主イエス様を受け入れませんか?」と勧めってみました。すると彼女は素直に「ハイ」と二つ返事で主イエス様を救い主として受け入れられたのです。

何日かして一人の女性がいつも同じ場所に座っているのに気づき、いつも会うと Good morning. God bless you. と声をかけられるようになりました。ところが彼女からはまったく笑顔もなく返事もありません。しかし私は、この彼女の為に何かしてあげたくて、「主イエス様、私が彼女にしてあげられることは何ですか?」と祈り求めました。するとイエス様は私に、「食べ物を与えるようにしなさい」と示して下さいましたので、私は、それからいつも4時半に起きて彼女のために弁当を作り、そして仕事が始まる30分前に家を出て、彼女のところに行き仲良く話をするように心掛けました。また何よりも主イエス様の話をし、彼女のために祈ることができ、今まで無かった笑顔が彼女の顔に戻ってきました。私は、「主イエス様、二人の時間を下さりありがとうございます」と感謝しました。何週間か過ぎて、私は彼女に、「主イエス様を受け入れませんか?」と勧めってみました。すると彼女は素直に「ハイ」と二つ返事で主イエス様を救い主として受け入れられたのです。

(次号に続く)

編集室 雑記

感謝祭の時期がやってきた。私にとったら何となく嬉しいのです。

私はイエス様を信じるようになってから、感謝することの本当の意味を知りました。それまでは感謝すべきことにだけ感謝し、空気や水や太陽は当たり前にあるもの、まして神様など感謝した事はありませんでした。それは神様が本当にいることを知らなかったし、神様が全てを創ったとは思っていなかったからです。それが、クリスチャンになってからは、こんなに感謝することがあったのかと、自分が盲目だったことに驚きました。それからは目に見えるものも目に見えないものも、また悩みや苦難さえ私を鍛えてくれるものと理解でき、感謝できるようになりました。すると心に喜びがわき、その喜びもまた感謝したくなるのです。だから感謝祭は、私にとって嬉しい日なのです。神様、ありがとう、ハレルヤ!